



大隈重信殿  
中込通南豊島郡下戸塚村

郵便はかき

此表面への宿所姓名を限り認むへし

130

1

2

3

4

5

6

7

8

9

140

1

2

3

4

5

6

7



抑も中外時論が月刊を以てせる者固と其志にあらず唯機運未熟の故に暫く之に屈するの致す所に候ひと爾來社運意外に迅速に開らけ今や既に其改善擴張の好運を見るに至り候間茲に從來の月刊を週刊に進め一部十錢の定價を四錢とし大に紙上の面目を刷新し同時に中外時論を改題して單に時論と名け精神社をも時論社と改めて左のヶ所に移轉す而して更に第一號を本月十三日に發行可致候是よりして時論が本領と特色は益す發揮せらるべく候に付尙舊の如く引續き御受讀の程偏に奉願上候敬白

東京市京橋區加賀町八番地

明治三十一年五月

時論社